

島根県益田市立歴史文化交流館

「日本医学の挑戦者たち～秦佐八郎博士とその恩師・同志たち～」視察報告

島根県益田市の益田市立歴史文化交流館の企画展「日本医学の挑戦者たち～秦佐八郎博士とその恩師・同志たち～」に、北里柴三郎記念博物館より展示物として秦佐八郎博士が合成した物質のアンプルセットを提供いたしました。



秦佐八郎が合成した物質のアンプルセット
(北里柴三郎記念博物館所蔵)
サルバルサン 606 号
(Ehrlich606 Salvarsan 右列上から 2 段目)

北里柴三郎記念博物館提供：秦佐八郎アンプルセット (2024 年 9 月 4 日視察時撮影)

島根県益田市は、北里柴三郎博士のもと、免疫と化学療法の研究を行い、梅毒の特効薬「サルバルサン」を開発したことで知られ、北里研究所副所長などを歴任した秦佐八郎博士の出身地であり、今般の企画展を行った益田市立歴史文化交流館のほか、秦佐八郎博士に関する資料、遺品を多数展示している秦記念館も市内に設置されています。去る 8 月 21 日には山本浩章益田市長が北里柴三郎記念博物館を表敬訪問されました。



山本浩章益田市市長と浅利靖理事長との記念写真（8月21日表敬訪問時撮影）

北里柴三郎記念博物館では、山本浩章益田市市長や、秦佐八郎顕彰委員会、益田市教育委員会から関係者との交流を活かして、秦佐八郎博士の益々の顕彰を進めてまいります。